



人は環境をつくり
環境は人をつくる



第10号

平成6年3月21日
貝塚中学区
青少年育成委員会

非行の防止は大人の責任



六十三年夏の一大目標として、
有害図書の追放を決議し、昨年か
ら各種団体と協力をいたしまして
頑張っております。

いよいよ実行の効果が現われ、
各販売店を始め、自動販売機の撤

去等が進み、明るい子ども達の社
会作りが出来つつあります。

昨年の暮（六十二年）には「風
俗環境浄化作戦」を千藻東警察署
と協力をして、都賀駅周辺のゲー
ム機撤去を実施するなどして、青
少年非行化防止に全力投球いたし
ました。

今後ともPTA、各種団体、地
域皆様の御協力をお願ひいたしま
す。

青少年非行防止こそ、私共大人
の役割と責任であり、明るい社会
作りを心から念願しております。

育成委員会会長 田中信夫
(育成だより 第六号より)

重 点 事 業 等 一 覧

昭和60年度

「育成委員会結成」

「事故と非行のない町づ
くり」

→ 標語看板の設置

昭和61年

「不良図書自動販売機の
撤去」

昭和63年度

平成元年度

平成2年度

平成3年度

「青少年をシンナーか
ら守ろう」

昭和62年度

平成4年度

平成5年度

「明るい通学路の確立」

← 「健全育成標語看板を各
町内に」

本年は貝塚中学校が創立十周年を
迎えました。

また、貝塚中学区青少年育成委員
会も、発会十周年を迎える、「育成だ
より」も第10号を発行するはこびに
なりました。

そこで、育成委員会の十年間のあ
ゆみをふりかえり、委員会活動の更
なる発展を期したいと考え、第10号
を作りました。

貝塚中学区の皆様のお声を、おき
かせ願えれば幸に存じます。

健全育成を願つて



田中 信夫
貝塚中学区青少年育成
委員会 会長

貝塚中学校が開校されて十年、ほぼ同じ時期に育成委員会が発足いたしました。地域住民の青少年問題に対する共通の理解を深め、地域諸機関の連絡・調整を行い、地域ぐるみで青少年健全育成活動を総合的に推進して参りました。その間、「事故や非行のない町づくり運動の展開」・「点検補導活



渡邊 愛
貝塚中学区青少年育成
委員会 副会長

私の思う

敬意を表する次第です。

さて貝塚中学校の伝統教育の一環として培われた体験学習

実践指導こそ誇りであり校訓の真隨で、さらなる強化推進を願うものでございます。日ごろ育成委員会として私の心情として生徒も社会の一員でありよい環境の中で育てられるとの理念に基づき、地域に切実な思いで請願し、開校に至りました。以来十年学校教職員歴代PTA地域各町内自治会の皆様が険しい道程に献身的なご支援ご協力により築いて来られた素晴らしいプロセスに、深い感動を覚え

動の強化」・「有害図書自販機の確立」・「明るい通学路の確保」等、一丸と

なって取り組み、多大な成果をあげることができました。これもひとえに、町内自治会長、各団体のリーダー、会員各位のご努力の賜物と感謝申し上げております。

二十一世紀に向け、次代を担う青少年が心身共に逞しく、健全に成長すべく、さらなるご協力をお願いいたします。

成長すべく、さらなるご協力をお願いいたします。

十年をふりかえつて



高柳 信一
貝塚中学区青少年育成
委員会 副会長

青少年健全育成委員会は、地域の自治会をはじめ、保護司・民生委員・母子福祉推進委員会・補導員相談員・PTA等諸団体および役員の方々から構成されています。

青少年の健全な育成を願つて、その生活基盤である家庭や学校地域社会で施策をとりあげ、その対

地域をあげて環境浄化を



鈴木 良太郎
貝塚中学校 校長

相変らず青少年にかかる悲惨な忌わしい事件も跡をたたず「いつたいたなぜ、どうして」と思ふい悩むうち、又、次の事件が追い討ちをかけ、またかという思いでだんだん無関心になつてくるのか恐ろしい昨今です。このような社会状況の中であればこそ青少年の指導に当る者として一層きめこま

策を推進していくことがもつとも大切なことと考えます。

しかし都市化が進むにつれ地域住民の連帯意識は、やうすくなり秩序や責任を軽視する傾向がありたくないといえません。

一方地域社会でも、青少年問題の機関団体が、それぞれの立場から熱心にその推進にあたつていますが、もっと連絡をとりあいたいとの思いもあるようです。

十年の歩みをふりかえり、青少年の健全なる成長を願つて、さらなるご協力をお願いします。

かい配慮をしていかねばと思います。さて校区の子どもを取り巻く状況は痴漢、非行への誘惑等決して気の許せる状態ではありません。

これまでも育成委員会ではこの状況を理解し、これ等の課題解決に向け具体的な活動を開催し、地域ぐるみで環境浄化、子どもの健全育成に取り組んできました。

このことは子どもを預かる者として本当に必強い限りです。今後も学校、家庭、地域の連携をますます緊密にしたいと思います。

美事な年輪



貝塚小学校 校長

十周年の年輪が木曽の檜のような美しさでもって刻まれていることをうれしく存じ上げます。

田中会長と役員の方々のすばらしいチームワークが、地域ぐるみの健全育成に結実しつつあることに感謝致します。



村田 康博

桜木小学校 校長

環境づくりを全員で

学校に寄せる愛情や期待感のよその察しがつくものです。人と環境とのかかわりの妙とはいえ恐しいことあります。

市内には創立百二十年をむかえた伝統のある学校もあります。

貝塚中学校のように、地域の学校がうことがあります。そんな時校門に足を一步踏み入れ、校庭を一望しただけで、その学校の意気込みというか、活気というか、日頃の教育活動の充実ぶりが感じられるものです。校舎の中は見えなくとも、そこにある「人」教職員、生徒、父母はもちろん地域の人の

平成5年度
貝塚中学校区
青少年育成委員会

役員

会長 田中 信夫
副会長 高柳 信一
副会長 渡辺 愛
監察 梶原顕五郎
監察 内山 英昭
事務局 早乙女徳夫
会計 秋元 寛

■総務部会

番号	氏名
○1	田中 信夫
○2	高柳 信一
○3	渡辺 愛
4	榛沢 芳雄
5	鈴木亥三男
6	古屋 一人
7	村田 康博
8	安藤 操
9	鈴木良太郎
10	早乙女徳夫
11	秋元 寛

■環境対策部会

番号	氏名
1	飯塚 正一
2	沼波 勇一
3	川口 正之
4	高橋 孝文
5	山崎 貴
○6	加山 貞子
7	千脇 操
○8	多田きよ子
9	鶴田 義男
10	中川 秀之
11	鈴木 邦子
12	相馬美智子
13	平野 一彦
14	高山久美子

■非行対策部会

番号	氏名
1	千脇美喜男
2	榎木 晃
○3	梶原顕五郎
4	本橋 信義
5	岸本 一誠
6	柳原 和平
○7	高橋 房枝
8	戸村 一美
9	岡田 敬子
10	古屋 一人
11	小林 啓
12	遠藤 純之
13	安藤 寿

■健全育成部会

番号	氏名
1	深山 信夫
○2	高畠 保夫
3	石橋 祐司
4	石原 作治
5	岩田 三郎
6	大塚 正秋
○7	鈴木美屋子
8	成毛 京子
9	小畠 清子
10	林 秀人
11	平田きよ子
12	日野 敬子

■レクリエーション部会

番号	氏名
○1	関塚 昭男
○2	内山 英昭
3	谷 三郎
4	和田加代子
5	村井 博
6	本木 信夫
7	戸村 正人
8	伊藤 清司
9	三輪佐知子
10	本塚 鏡子

■交通安全対策部会

番号	氏名
1	伊藤 黙
2	御園生 章
3	戸村 直彦
○4	原島福二郎
5	中島 邦明
○6	橋詰 智子
7	本間 修

■福祉部会

番号	氏名
○1	野村 啓二
○2	豊田 新六
3	飯田 貞介
4	戸村 山三
5	佐川 君枝
6	高山 光代
7	藤原 令迪

■広報部会

番号	氏名
○1	工藤 愛子
○2	田中 桂子
3	林 和子
4	中村八重子
5	田中 研一
6	秋元 寛

専門部
所属一覧

○部長
○副部長



育成委員会のあゆみ

昭和59年4月6日・開校



開校にむけて工事急ピッチ



開校記念樹



〈有害図書追放に向けて〉

決議

貝塚中学校は三年の歴史しか持たない、貝塚中学校、北貝塚小学校、桜木小学校及び各校のPTAと連携し、地域をあげて次代を担う青少年の健全育成活動に取り込んできた。

青少年の健全な育成を図るために

は青少年のための健全な環境づくり

が急務とされるが現実の青少年を取

り多く社会の環境は、享楽的風潮の

強い現代において決して安穏として

いられるものではなく、常に環境浄

化のための諸努力をし続けなければ

ならない状況にある。

特に当学区において通学路に図書

自動販売機が数台設置され、大人も

目をそむける内容の図書を野放図に

販売し、青少年の目にさらしている

現状は極めて憂うべき状況といえ

る。

ここに、我々、育成委員会、学

校、PTAは不良図書自動販売機の

撤去についてこれまで以上に地域を

あげて取り組み、行政当局等にも働

きかけ、万全の努力をし続けること

を決議する。

昭和六十一年十二月十三日

愛の一歩運動



(昭和61年・正門にて)

一期生・標語



開校より尽力された方々



創立十周年・育成

平成5年11月27日・十周年式典

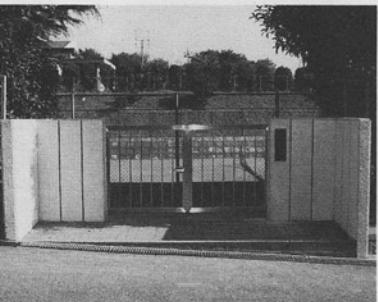


開校から長年にわたり
尽力された方に表彰
状の贈呈

5年での変わりよう



十周年記念・学校記念品（通用門）



平成4年度健全育成標語看板



平成3年度東部ブロック研修会



3年修学旅行・木曽体験学習生活招待／歓迎式



グランド・ゴルフ大会



スローガン採択



健全育成部会 「健康と愛」について

平成6年2月、貝塚中図書室にて、育成関係者、貝塚中、桜木小、北貝塚小PTA約百名の方々の参加をいただき講演会を開きました。

講師は、大木威先生、教職四年、保護司十八年、幼稚園長八年目、又数多くの校歌や、親子三代千葉おどりの作詞等手がけられ、



健康にかかる仕事もされており、八十年の豊富な人生経験から、ユーモアと説得力のあるお話をされました。

また、夏休みには、各地区的盆踊りの会場周辺の巡回、一年を通して「愛の一聲運動」等、各地区で実施していただき、ありがとうございました。

高畠 保夫

環境対策部会

青少年育成委員会も貝塚中学校創立十周年と合せて迎えることが出来ました事を嬉しく思います。環境対策部会では、青少年をとりまく不良環境の排除と健全な環境づくりを目標とし、有害図書、広告物などの除去、地域美化活動、地区巡回活動、空家の現況把握、シンナー、痴漢出没地区的点検などパトロールを通して行なつております。何度もかのパトロールを通じて、

い致します。

加山 貞子



梶原顯五郎

して学校関係、地域の皆様、部員の方々の協力により貝塚中学校地区には殆ど有害図書、広告物は見当りません。シンナー、痴漢出没場所もあまり見受けられませんでした。次代を担う青少年が健やかでたくましく成長できますように、

大勢のご参加をいただき誠にありがとうございました。

また、夏休み、冬休みには、学区単位でパトロールを実施しました。特にカラオケボックス、パチンコ店、ゲームセンター等は重点的に見回りました。



非行対策部会 映画「危険な遊び」

非行対策部では、八月五日、都賀ミニティセンターにて、講演と、映画の夕を開きました。

千葉警察署長からは「若葉区

は、地域も広くこれから、どんどん開発される地域です。人の動きも大きく、はげしい地域です。よりよい環境を作るために、一層のご協力をお願いします。」ということでした。

大勢のご参加をいただき誠にありがとうございました。





そして一月末に一泊二日の南房総

への研修旅行を実施しました。

関係の皆様には多くの御参加と

御協力をいただき、レク部員一同

大変感謝しております。

特に研修旅行において、参加者を募ることの大変さは例年の事ながら前任者の方々の御努力に改めて頭の下る思いです。

それぞれの活動の中で参加された皆様に喜んでいただけ、互いに親睦を深めて頂けたら、私共の最良の喜びとなります。

一年を通じて事故もなく、無事に終ることが出来ましたのも皆様方の御協力の賜物と心より御礼を申し上げます。

貝塚 昭男

交通安全対策部会

今年度のレクリエーション部会の活動として、八月にグランドゴルフ、十二月のボーリング大会、

た。特に夏休み、冬休みには、路上での遊びや安全面について見回りました。

二、交通教育の実施

九月二九日東警察署交通課のご協力をいただきまして、貝塚中一年生約二百名対象に、交通安全を実施しました。

一、通学路の安全点検

広範囲のため、都賀地区、桜木地区にわかつて実施しました。

原島福二郎

福祉部会

例年の通り夏休み及び冬休みを重点に各学校と各地域の民生委員と提携して左記のような活動を実施しました。

夏休み、三名ずつ二班に分かれて各町内における盆踊り会場の見回りと、要保護世帯の夏季慰金配布のときに生徒の生活の様子を観察しました。

野村 啓二

平成5年度 千葉市青少年育成委員会 東都ブロック研修大会報告

千葉市図書類自販機設置状況
(平成5年7月1日現在)

合計	東部ブロック	中央区	千葉区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区
93	0	11	51	9	9	13		

(※貝塚中学校)

東部ブロック
つてきていると
の事でした。

伊藤重臣様(元貝塚中校長)から自販機撤去には、一段と力をかしてほしい、というお話をでした。

貝塚中一年生約二百名対象に、

補導センターの調査によります

と市内周辺住宅地に自販機設置数

の増加が著しく、その内容も

察しました。

冬休み、各地域の民生委員へ機会ある度に生徒及び父子母子家庭に励ましの声をかけ様子を伺うようお願いをしました。

県議会議長に陳情書を提出し、大人的使命として、よい環境づくりを推進しようと申しあわせました。

貝塚中学区青少年

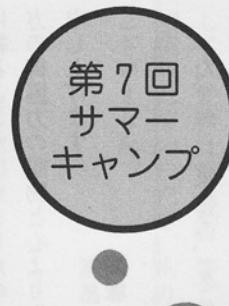
相談員活動

キャンプの楽しさとは

貝塚中学区青少年相談員

本橋 英樹

平成五年七月二十六、二七日貝塚中学区青少年相談員主催のキャンプを栃木県の国立那須甲子青少年自然の家キャンプ場で行つた。子ども達四十二名の参加である。テントに泊まり野外炊飯を行つたが、その夜大雨になつてしまつた。テントの中まで濡れないか、体は冷えないか、ぬかるみですべりケガをしないか等、引率している側は気を使う。最終的には子供達の安全と健康を考え、日程を変更せざるを得なかつた。色々考えると自然の家やロッジなどの施設を利用する方が、便利生活に慣れ私達には気軽に安心で楽しいのかも知れないが、普通の生活では決して味わうことのできない貴重な体験が出来るのではないかと思う。



平成6年度サマー キャンプ 参加者 募集!

- 平成6年7月28・29日実施予定
- 国立那須甲子少年自然の家(ロッジ)

詳細は後日各小中学校より配布致します。

すばらしい子供達。各紙に掲載
地域の子供達。各紙に掲載
貝塚中・秋山、李君
北貝塚小・戸村、門馬君
小中学生見事な連携
一月二十日夕、若葉区西都賀
一丁目で発生したマンション火
災で、地元の中・小学生四人が
ベランダで助けを求めるお年寄
りをチームワークよく救出し
た。四人は「困っている人を見捨
ててはおかなかつた」と、さわ
やかな笑顔を見せている。

お手柄
四人組